

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅰ	1	前期	必修	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の土台となる聖書理解が目的である。授業では、旧約・新約聖書の基礎を体験的に習得できるよう、毎回の講義で各々が聖書を声に出し輪読をすること、学生による紙芝居や絵本の読み聞かせ、ディスカッションなどを取り入れた。また、毎週のチャペルの参加や、ミッションデーのレポートなどを評価に取り入れ、授業外でもキリスト教に触れる体験の機会を促した。</p> <p>毎回、授業の最後に記入するポートフォリオにおいて、その回の学びの確認を行っている他、遠隔のチャペルについてもチャペルポートフォリオを作成し、積極的なチャペル参加と感想の作成を促し、自らの考えをまとめる機会を作った。</p> <p>今後は、さらに建学の精神に日常的に触れていく機会、聖書を読む機会を予習・復習などに取り入れる工夫を行いたい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては4.0ポイントであった。事象を理解する視点や考え方取得は3.9ポイント、到達度自己評価全体として平均3.8であった。トータルの成績の平均値は約80%以上、チャペルの出席率約90%以上と、遠隔授業であっても、チャペルポートフォリオやクラスポートフォリオなどから、「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の世界観を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。</p> <p>キリスト教学Ⅰはキリスト教の導入なので、今後、キリスト教学Ⅱの中で、Ⅰで学んだ知識をもとに、発展させていくような展開が必要とされる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性
本科目は本学の要となるキリスト教を学ぶ「必修」科目である。しかし、初めから興味を持って受講する学生はわずかであるため、キリスト教に全く興味のない学生も受講しているため、動機付けに工夫が必要であるが、総合的に全体として一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。

②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性
「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという行動目標に沿い、学問としての旧約新約聖書の講義と、実際に自ら聖書を開くなどのアクティブラーニングの他、チャペル視聴を評価に組み入れ、授業内で学ぶ事の出来ないキリスト教の源泉に触れるなど、内容的に妥当であっただろう。今後も引き続き、慣れない聖書の学びへの導入として、多様な教材に触れながら多角的に教え、学生の生活につながる学びの視点を大切にしたい。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「チャペルポートフォリオ」を導入して、チャペルと本講義とのリンクを行った。毎回90%以上の提出があり、学生のチャペル参加の意欲など、全体像をつかむことが出来た。本講義は、キリスト教に興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、わかりやすい説明を心がけており、(1)「評価基準は明らかであった」は4.1ポイント、(2)「学習の範囲や課題は明らかであった」は4.2ポイント、(3)「説明は理解しやすいものであった」は4.1ポイント、(4)「学生の参加の機会」は4.0ポイント、「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」は3.9ポイントであった。引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の土台を学ぶ科目であるため、学期始めにキリスト教に関心や興味のない学生たちにも主体的に学習してもらうための工夫が必要である。受け身的に知識を得るだけではなく、学生が興味を抱いたテーマについて取り上げてディスカッションを行うことや、絵本・紙芝居の読み聞かせを学生自らが実践することなどを入れ、授業を造り上げる一員としての自覚を養うように促している。今後も、さらなるアクティブラーニングを検討し、キリスト教学の学びを体験的に深められるような機会を提供していきたいと考えている。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
初年次セミナー	1	前期	必修	はい	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・主な受講動機は次の通り。① 必修科目である93.6%、② 資格取得に必要である34.0%、③ 関心のある内容である17.0%、④ 単位数を確保する31.9%、⑥ 友人が履修している4.3%、⑧ 教員に勧められた2.1%。</p> <p>・学科における必修科目である。一般教育科目の中の初年次教育に位置づけられる。</p> <p>・シラバスに沿って、主として演習形式で進行した。</p> <p>・グループワークを多く行い、能動的な姿勢を促した。</p> <p>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・前期試験を経ての成績評価は、平均83点/100点であった。再試対象者は0名であった。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.3で最も高いスコアであった。</p> <p>(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.0で最も低いスコアであった。</p> <p>(3) 事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた。</p> <p>(10) 職業選択の参考になった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

- ・学科のDPの知識理解（DP1）、態度（DP4）を担う科目として開講している。
- ・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

- ・授業の質評価の5項目についてのスコアは4.3～4.2であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。
- ・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。
- ・図書館等の利用は、過半数の学生で利用が見られ、能動的な学びに役だった。さらなる利用の促進を図りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

- ・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。
- ・図書館の利用も含め、予復習、自発的学習を更に促す工夫をする余地があると考ええる。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	上野 博美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
女性とマナー	1	前期	選択	いいえ	51

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>マナーへの興味関心が高い、と想像していた。ただ、実際には数字にも現れているが、単位獲得のための学生の方が多く、この学生に興味関心を持ってもらうことを意識しながら講義をしていた。ただ、密を避けること、講義回数が8回と少ないこともあり、演習時間に限りがあったため、興味関心を高めることができなかった部分もあるように感じる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績を見ることでわかる。単位取得者の数や成績が良好だったものも多い。真面目に出席し、ノートをとってきた、復習をしていた学生は優秀な成績だったように思う。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機は単位獲得のため、というものが最も多く、次にこの科目への関心が見られた。確かに欠席をせず、熱心に受講していた学生もいたが、単位取得のためと思っている学生にもっと興味関心を持ってもらうことに工夫をしたかったが、時間数、コロナ禍でもあったため、難しかったと思う。その中、講義で学んだことをアルバイトで実践していた学生もかなりいて、今後社会に出る際にも、また社会に出てからも役立ったと実感していただけるのではないかと、感じている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

理解しやすくすること、コロナ禍の中でできる限りの実践をしていただいた。可能な限りマナーに興味を持っていただくようにしたが、かなり個人差があり、興味関心が持てないままの学生もいたように思う。テスト範囲がわかりにくかった、という意見があったようだが、実際には事前にテスト範囲からの類似問題を実施させていただいた。その結果点数が高かった学生もいたので、全ての学生に伝わるか、は困難な部分もあったように思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

やや達成された、と考える。成績、毎回書いていただいたコメントカードの内容からも、興味関心を持ち、ほとんどの学生が熱心に学んだと感じていたからだ。コロナによる欠席、密を避ける必要性、そして時間数の制限がなければ、もう少し達成度が上がったのではないかと、考えている。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
共生社会とジェンダー	2	前期	選択	いいえ	3

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ジェンダーに関しては、身近な問題でありながら意識されていない場合が多いことから、アクティブラーニングを実施するにあたって、アニメやネット上の映像、ニュースや映画の予告、CMなどの新しい動画を教材として準備した。学生にもその旨をシラバスに記載し、身近なテーマから授業に関心を持てるようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>評価は、最終授業の中でジェンダーを原因とする格差が解消した未来の共生社会を新聞記事として表現し、これに対し当事者性のある課題をどこまで社会的解決に結びつけるかを採点の基準とした。新聞作成はグループの作業となったので、個別の評価は各回の授業の感想において、現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題に関心を持ち、自分の考えを述べることを加えた。全体の回数が少ないため、やや欠席が多い学生の場合は自身の考えを文書にまとめるまでに到達していなかった。新聞作成においては、ジェンダーをめぐる課題を社会構造と結び付けられているか、意欲関心が表現されているかを評価した。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

新聞記事として表現された内容から、ジェンダーをめぐる現状に社会的解決が必要であること、それ実現するために求められる施策などへの理解は達成できたといえる。また、思考判断や意欲関心についても達成されており、おおむね内容的妥当性は認められる。ただし、関心の高いテーマ（例えばLGBTなど）へは考察が深い、より多様な人々との共生をジェンダーの視点から総合的に捉える力が不十分な学生も見受けられた。ただ、グループ討議などで他者の意見を聞くことで、おおむね新たな気づきにつながっていたと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

開講以来、初めてすべての授業を対面でグループ討議を実施できた。討議では、自分自身の意見を述べることや他者の意見を聴くことはできていた。毎回、発表する担当者を決めて、またグループで発表内容を検討するなどして、主体的な学びの場となった。しかしながら、参加人数が少なかったことから、対話の楽しさまでに導くことがやや困難であった。討議に講師も介入しながら、意見を出しやすくする言葉かけが必要であった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

ジェンダーや共生社会という概念については、もともと知識のある学生と全く初めて接する学生に分かれていたが、最終的には基礎的な知識を身につけたものと思われる。身近な問題を政治や経済と関連する理解へと結びつけることは、継続的な課題である。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報処理入門	2	前期	選択	いいえ	60

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・主な受講動機は次の通り。①必修科目である70.5%、②資格取得に必要である40.9%、③関心のある内容である25.0%、④単位数を確保する47.7%、⑤GPAをあげる33.3%。</p> <p>・学科における選択科目である。一般教育科目の中のアカデミックスキルに位置づけられる。</p> <p>・初学者の受講を想定して学習プリントの用意をした。</p> <p>・シラバスに沿って、主として講義形式で進行した。</p> <p>・質疑応答を多く行い、能動的な姿勢を促した。</p> <p>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・前期試験を経ての成績評価は、平均82点/100点であった。再試対象者は0名であった。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.3で最も高いスコアであった。</p> <p>(1) 自分なりの目標を達成した。</p> <p>(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.0で最も低いスコアであった。</p> <p>(3) 事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた。</p> <p>(4) 自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた。</p> <p>(5) 自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

- ・学科のDPの知識理解（DP1）、技能表現（DP5）を担う科目として開講している。
- ・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

- ・授業の質評価の5項目についてのスコアは4.4～4.0であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。
- ・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。
- ・図書館等の利用は、過半数の学生で利用が見られ、能動的な学びに役立った。さらなる利用の促進を図りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

- ・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。
- ・図書館の利用も含め、予復習、自発的学習を更に促す工夫をする余地があると考えます。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英会話入門	1	前期	選択	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>For this course we used the textbook "Four Corners 1 2nd edition" (Cambridge), which guides students through practical exercises aimed at improving spoken English skills. Students engaged in listening practice, dialogue drills, information gap exercises, role plays, reading comprehension, and vocabulary building for the first half of the textbook.</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>Students were assessed on passive participation, weekly class tasks, and presentations (80%) and a final assessment (20%). Student scores were well-balanced from the 60s through the 90s.</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

Students were very enthusiastic, positive, and willing to learn. This positive outlook contributed to a high level of participation and increased understanding of the material. Opportunities to build skills (DP5) were provided throughout the course with many students taking advantage of the opportunity to learn.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year will be to continue to integrate the significant amount of additional blended learning materials created over the past two years. New approaches and skills were required to successfully plan, distribute, monitor and collect the productive output of the students while also accurately tracking and assessing every single student up to the usual standards under the extremely difficult circumstances of the COVID-19 pandemic. I am very proud of what has been achieved the past two years on behalf of the students and will continue to integrate new blended learning materials into my lesson plans.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

Returning to face-to-face classes has been a welcome change after two years of extremely challenging work under pandemic restrictions.

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	韓 京我

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ハンゲル入門	1	前期	選択	いいえ	53

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①今回の受講動機をみると「単位数を確保する」54.8%、「必修科目である」33.3%、「関心のある内容である」26.2%との回答をしていることからわかるように、もともとK-POPや韓流ドラマなどの影響を受けている学生が多く、できるだけK-POPアーティストや韓流ドラマ俳優などが使うフレーズや言葉なども文法学習で取り入れながら、学生が韓国カルチャー情報を見る際に実際役立つような授業も心がけながら、学生の自発的な韓国語学習を促すことに重点を置いて取り組みたい。②授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行った。③毎回小テストと会話練習を行い、学生の復習への意識を高め、学習状況を確認するようにした。④授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由には、「どのようなことをしたらいいかわからなかったから」もあったため、これについて復習項目と次回講義の予告をすることで自習を促す。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は82点であり、再試験対象は4名であった。全員が標準的レベルに達し、理想的レベル（概ね80点以上）に達したものは、36名だった。目標別に見ると、知識理解に関しては80%、機能表現は86%であった。知識理解では、与えられた課題を解決する際に知識をどのように応用するか、また機能表現では、文字読み取りテスト、挨拶テストと自己紹介テストの実施で、「知識を新たに得ることができた」と「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」で高い満足度が見られ、講義の重点を置いている点と学生の満足度が一致する結果が得られた。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性

試験の結果で見られるように第二外国語として目標とした成果を挙げられたので、内容的に妥当性があると考えられる。

②DP

授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価でも高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。

③まとめ

以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進度は毎回行う小テストや課題の出来具合をしっかり把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に指導にあたったりもした。また韓国語の発表の時間や会話の機会などコミュニケーションを図れるよう努めた。最終テストでは全員の平均点が高く、語学の基礎的レベルには十分達したと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

本講義ではハングル文字の書き方、正確な発音など、これからの発展的な語学学習の重要な基礎を身につけることができ、韓国語でのコミュニケーションの第一歩を確実に踏み出せたと考える。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育者論	1	前期	必修	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得の必修科目でもあり、テキストや参考文献、画像等も活用しながら伝えるべき内容を網羅するように心掛けた。 ・これから保育者を目指す1年前期の段階で、子どもや保育者の姿をイメージしやすいように保育現場でのエピソードを織り混ぜながら、望ましい保育者として押さえておくべき知識理解・態度について説明することを重視した。 ・今年度は全面的に対面授業ができたので、学生との、また学生同士での双方向のやり取りを心掛けて授業を進めた。オリエンテーション後の授業でそれぞれ学生が考えている望ましい保育者像や子どもの姿について課題を出し、それを集計したデータをもとに望ましい保育者の専門性や倫理観について解説を行った。 ・オリエンテーション後の授業と最終回の授業で同じ課題を出し、その内容を比較することで、自らの学びを振り返り、深めることができるようにした。 ・毎回、授業開始時に前回の授業内容の振り返り時間を取り、授業終了時には、次回の予定を伝えて予習・復習ができるように配慮した。 ・今年度も持ち込み不可で定期テストを行い、内容理解の確認を行った。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通しての成績は79.3(±5.3)であった。総合評価として学生の多くがA又はB評価のレベルであった。 ・重要なポイントを押さえながら授業を行い、定期テストは平均値が79.8点(±6.0)で、80点にはわずかに届かなかったが、知識理解は概ね達成されたと考える。定期テストの得点が低い学生が数名いたので、今後の課題として学生への個別指導についても検討していきたい。 ・学修態度としては出席状況は良好であったが、授業への主体的な参加については個人差が大きかったように思う。しかし授業の中で出した課題について行った意見交換では、回を追うごとに意見を述べる学生が増えていったように思う。 ・授業内容に該当するテキストの箇所を知らせて、レジュメを配布することで予習・復習を促してきたが、授業アンケートによればテキストやレジュメを使って予習・復習することが十分できていたとはいえなかった。それでも定期テスト前には授業内容の確認学習はできていたようで、定期テストの結果では、概ね知的理解はできていたと思われる。 					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

・本科目は、「専門教育科目」の「教育の基礎的理解に関する科目」の「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられており、幼稚園教諭2種免許、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生はいずれの免許・資格の取得も希望しており、真面目に授業に臨む姿が見られた。

・授業アンケートの自由記述での回答はなかったが、現場での事例（プライバシーに配慮して加工しながら）を用いて解説することで、より興味・関心をもって説明を聞くことができていたように思う。

・以上より内容的妥当性には問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・入学直後のそれぞれの学生がもつ望ましい保育者のイメージを活かしながら、テキストを用いた解説に加え、他者の意見も取り入れながら、より望ましい保育者像を構築することを目指した。今年度は昨年度の経験を活かして意見交換の時間を多くもったことで、個人差はあったが回を追うごとに自発的に意見交換を行うことができ、他者の意見も取り入れることで学びがさらに深まったと思われる。

・オリエンテーション後の授業と最終回の授業で「望ましい保育者像」について課題を出し、内容と比較しながら授業での学びを振り返る機会を作ったことで、それぞれ自分の学びを実感できたと考える。しかしまだコミュニケーション力や表現力を高める部分では十分とは言えないので、引き続き発表場面を増やすなどの工夫をしていきたい。

・授業内容を記載したテキストの箇所を明確にし、レジュメを配布することで予習・復習を促したが、まだ予習・復習が十分とはいえない。主体的な学びを引き出せるように、さらに具体的な課題の提示に留意していきたい。

・保育現場でのエピソードは、学生の理解を促すために有効と思われるので、守秘義務に配慮しながら継続していく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

・学生の達成度自己評価とトータルの成績より、概ね授業の目的は達成できたと考えられる。上記の課題を意識しながら、さらにコミュニケーション力や表現力を高めることができるように、また学生の主体的な学びを促すように授業内容を工夫していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育原理	1	前期	必修	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>*卒業必修科目であり、資格に必要な科目のため、全員履修した。</p> <p>*授業への目標が持ちやすいよう、保育に関する基本的な理念や概念の整理などを行う授業であること、特に基礎となる知識習得を重点的に学ぶよう開講時に説明を行った。試験についても、事前に2回の小テストを行い、通信環境の確認や出題傾向や問題は分かるようにしておき復習がやりやすいように心がけた。</p> <p>*授業の進行には、ノートプリントを用いた。穴埋め形式のため、キーワードとなる言葉や概念の整理と共に、どのような学習の経過を辿ったか分かるように工夫をしている。自分の考えやアイデアを記述する欄も設け、それに基づいて意見発表ができるようにしていた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>*全体の成績は平均が79.8と高く、80%の学生が秀と優の成績を収めている。再試験該当者は無かった。授業評価アンケートにおいても、「自分なりの目標を達成した」は平均4.2で、「そうでないと思う」「少しそうでないと思う」が0名となっており、学生の自己評価を合わせても、授業目的は達成されたと評価する。</p> <p>*授業に対して、本試験に向けた小テストを授業内に2回実施した。学生にとっては学習のポイントを押さえることができたようで復習する機会となったようである。また、穴埋め式プリントにより覚えるべき用語や概念をまとめていたためプリントの読み返しで十分に復習はできたと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

入学直後の1年前期に配置される、基礎となる用語や概念の習得、子ども理解を学ぶ内容であるが、カリキュラムツリーの位置づけとして十分に妥当であることを示した結果となった。

DP、行動目標に置ける内容的妥当性についても、十分に確保されていると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価について、全ての項目が4.3もしくは4.4と高い評価を得ることができた。パワーポイント資料の作成には視覚的に分かりやすい工夫をこらした。

ただ、課題以外の自己学習に取り組んだ学生が全体の3分の1と少なく、「忙しかった」「時間が無かった」等の意見はあるが「何をして良いか分からなかった」という意見もあるため、学生の関心をより上げられるような授業内容での提示が必要であることは今後の課題である。

定期試験に関して「持ち込みにしてほしい」という意見があったが、持ち込み不可であることは以前から授業内で十分に伝えており、基礎的な知識の定着を図るためにも試験前の準備を十分に行うためにも持ち込みは許可しなかった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

原理系科目はどうしても学生にとって堅苦しい内容であるため、工夫を行い、分かりやすく説明することを心がけたため授業の質は保証できたと考える。学生の自己学習に対する意欲を十分に引き出せなかったため、来年度は課題意識を持てるような内容と説明を心がけたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育原理	2	前期	必修	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業必修科目のため、学科の全学生が履修する。情報量がかなり多い授業内容であったが、一年次の学習や実習経験が基礎として活かせるよう、内容も十分に関連付けながら、より理解を深められるよう授業計画を立てた。授業はレジュメ資料とパワーポイント資料を準備し、話のポイントが押さえられるようレジュメプリントを「穴埋め方式」にして書き込みができるよう工夫をし、また最終的にプリント提出を評価対象とした。日々の学習課題は簡潔にまとめられ、その日の学習内容が振り返られるテーマを課した。期末試験に備えられるよう小テストを2回行った。期末試験については試験勉強で備えられるよう問題を予告するなど行った。</p> <p>授業内課題については、特に大きな不満はなかったようである。自由記述には「楽しく受けられた」との声がほとんどであった。自発的学習に取り組んだ学生は50%と半数だった。自発学習に取り組まなかった理由として「他の授業の課題があったから」との意見があり、本科目の自発的学習の優先順位が下がったと考える。しかし、小テストがあったために自発的学習に取り組んだ学生も多かった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終の成績評価の平均は79.4と高い結果となった。全員が本試験および追試験で合格できており、再試対象者はいなかった。</p> <p>試験の形式は今回、オンラインと紙面回答と併用して行った。オンラインでは選択問題のみ、紙面では筆記と論述の問題を行った。選択問題の方が得点率は高く、特に論述が苦手な学生が多く見られたが、最終の得点は十分であった。</p> <p>また授業評価アンケートでも学生の自己評価として「自分なりの目標を達成した」については平均4.3、「知識を得た」については平均4.5となり他の項目も全て4.2以上と学生の自己評価も高いため、DP1は「達成された」としたい。</p> <p>またDP3に関しては昨年度よりも自発的学習に取り組んだ学生は増えており、小テストや試験のための学習だけでなく疑問点を自発的に調べる等の回答が複数見られた。そのため「達成された」と評価したい。2年生前期は科目も多く他の科目の課題も多い時期であるが、適切な課題設定の必要性が今後の課題と考える。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、CPともに内容的に妥当であると言える。カリキュラムマップにおける位置づけについても、妥当である。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業評価アンケートの「授業の質評価」について、比較的高い数値を得ることができた。全ての項目が4.4以上であり学生の受け止めも良かったと思われる。

学生の授業参加については、以前からの課題であったが、今年度は対面授業が実施できたこともあって4.4と高い評価となっており、オンラインで難しかった学生の参加意欲の向上という課題は一定程度解決できたと思われる。

「パワーポイントで色が多く、要点が分かりづらい」という意見があった。十分に要点が分かりやすいように工夫を行っているが、学生自身が話を理解し要点を整理する能力も必要であると考え。自分なりに授業内容を解釈する努力を求めたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

DPについては「達成した」という評価を行った。授業進行や内容については概ね問題ないとする。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会的養護Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格習得の必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業では、社会的養護に関する制度・施策、子どもの人権擁護や自立支援、社会的養護の現状と課題など、社会的養護の担い手である保育士に求められる知識の獲得を目指している。また、社会的養護への意欲関心を高めるとともに、社会的養護の実践を具体的にイメージできるよう、適宜事例等を用いた授業展開を心掛けた。学生の学習状況を把握するため、適宜小テストを行い、授業理解度の低い学生については必要に応じて個別対応を行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績評価については、定期試験、レポート、小テスト、授業への参加度を踏まえて総合的に行った。その結果、全体の成績は平均76.7点であった。学生の到達度自己評価「(1) 自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値4.2点 (かなりそうだと思う31.2%、わりにそうだと思う56.3%、まあまあそうだと思う12.5%) であり、目標は達成されたと考える。「知識理解」については、「(2) 知識を確認したり、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.3点、「(3) 事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.3点であり、目標は達成されたと考える。「意欲関心」についても、「(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.3点であるため、目標は達成されたと判断した。					
*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標>	「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられている。授業評価アンケートの結果からもほとんどの学生が資格取得のための必修科目であることを理解しているため、受講に対する意欲は高い。学生の自己評価における知識理解、意欲関心に関する項目ですべての学生が肯定的な評価をしていること、成績評価において一定程度の成果を得られたことから、本科目の内容的妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今年度はすべての回を対面形式で実施した。学修準備性を高めることを目的に、単元ごとの小テストの実施と予習プリントの配布を行ったが、学習量の評価をみると課題を残す結果であった。学生の自由記述では「復習を兼ねて小テストの勉強をした」、「予習をした」などのコメントもみられるが、数値からは継続的に予復習に取り組んだ学生は半数以下であることがうかがえる。この点について、配布プリントの内容を見直し改善をすることで予復習の定着を図っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の取り組み状況や評価の結果から、本科目の教育目標は達成できたと考える。本科目は保育士に求められる専門的知識を獲得するだけでなく、職業理解にもつながる重要な科目である。学生の受講意欲や興味関心を高めることが出来るよう、授業改善にむけた取り組みを行ってきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども家庭支援論	2	前期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられており、保育士資格取得のための必修科目である。学生の受講動機は、「必修科目である」が54.5%、「資格取得に必要である」が95.5%、「関心のある内容である」が31.8%と大部分の受講生が資格取得のために履修している。資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業では、毎回教員が作成したレジュメを配布し、重要なキーワード等を穴埋め方式にすることでポイントが押さえられるよう工夫した。また、講義内容を実践に引き付けて理解することができるように、適宜事例を紹介し、支援方法等を検討する機会を設けた。学生の理解度の把握と予復習を促すため、単元ごとに小テストを実施し、その点数も成績評価の対象とした。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された			達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体の成績は平均77.0点であった。学生の到達度自己評価「(1) 自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値3.9点であり、大部分の学生が肯定的な評価をしているが、ごく僅かではあるが達成できなかった学生も存在するため、本科目全体での教育目標はやや達成されたと考える。「意欲関心」は、「(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.3点であるため、目標は達成できたと言える。「技能表現」については、「(7) 自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が4.1点、「(8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値が3.9点であることから、目標はやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられる。保育士資格取得の必修科目であることから、学生の受講動機は主に資格取得のためではあるが、授業における課題への取り組み状況や自己評価における「意欲関心」の項目が平均値が4.3点（かなりそうだと思う41.0%、わりにそうだと思う45.4%、まあまあそうだと思う13.6%）を示していることから、本科目への興味関心の高さがうかがえる。また、成績評価においても一定程度の成果を得られたことから、内容的妥当性に問題ないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業の質の評価」は平均値4.3-4.5点であったことから、授業運営について一定の評価を得ることができたと考える。しかし、「(3)説明は理解しやすいものであった」の項目で4%の学生が少しそうでないと思ったと回答している。また、自由回答においても「関係ない話が長すぎる」というコメントがあった。折に触れて時事問題や身近な出来事など取り上げ、子ども家庭支援に関する理解を深めることができるよう多角的なアプローチを試みたつもりであったが、その意図が十分に伝わっていなかったのではないかと考えられる。今後は、話の論点や意図を明確化するなどの改善に努めていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の取り組み状況や評価の結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。今年度から担当となった科目であるため、授業評価アンケート結果や成績状況を踏まえ、必要な改善に取り組んでいきたい。また、学生が可能な限り実践的な学びを深めることができるよう教材の修正や改善にも注力していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育の心理学	1	前期	必修	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、資格取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生は全員受講している。しかしながら受講動機において資格取得に必要であると認識している学生は半数である。現在、授業初回にカリキュラムツリーを用いて説明してはいるが、より丁寧に伝えることが必要であると思われる。</p> <p>受講学生は乳幼児についての基礎的知識や体験が少なく対象に対するイメージが難しいのではないかと考え、スライドには写真を用い視覚的に理解を促す、幼少期に関して自身の記憶を想起できるような働きかけを行う、他科目ではあるが見学実習や遊び体験を振り返ってイメージする機会を持つなど配慮した。配布資料はスクリーン用とは別に内容を集約し、適宜書き取りを行う事によって授業に集中できるようにしている。</p> <p>講義を進めるにあたっては、なるべく教師からの一方的な教授になることの無いよう、事例や学生同士のディスカッションを取り入れるように心がけた。また、講義を主体的に受講することを意識づけるために、評価に授業ノートの提出を取り入れている。これにより、講義であっても重要箇所を聴き取る力を身につけられるよう意識している。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は77.1点（最高点95点、最低点48点）である。本科目は、2クラスに分かれて行っているが、各クラスの平均得点はA-80.7点、B-72.9点であった。クラスにより大きく異なるが、授業放棄した学生が複数名いることにより得点が下がったことによるものである。</p> <p>授業評価では、授業の復習を個人や友人と行っている学生や、授業を基に関連する情報を調べている学生も見られた。</p> <p>当該科目は、授業の要点を要約しながらまとめる力を育むために、授業ノートも評価の一環として取り入れているが、学生によりこれらの質には差があることがうかがえる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、卒業必修科目であると同時に、「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置付けられており、幼稚園教諭免許所（必修）、保育士資格（必修）の科目である。受講生は、いずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。

DPに関しては、試験解答状況を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成できていると考えられる。

以上の事より、内容的妥当性には問題ないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業時の発言は学生にとって勇気が必要であり、発言する学生としない学生に偏りが見られる。コロナ禍の状況もあり、回数は減ったものの、発言を促す際は少人数でディスカッションする機会を設ける、発言は否定せずに受け止めるなど発言しやすい雰囲気を作る事によって、発言することへのハードルを下げ、意欲が高められるように配慮した。また、個々人が事例検討を深められるように各自がゆっくり考えられる時間を確保した。授業時は配布資料に加え、口頭説明もかなりの分量になるが、学生には内容を要約してまとめるといったスキルを身につけていただきたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

全体的には学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、授業の目標はやや達成できたと考えられる。本科目は、保育の道を志した学生が保育者としての視点を学ぶ科目であるとする。また、これから2年間かけて形成されていく学生たちの子ども観や保育観の基本となる内容を取り扱っているため、授業理解度を途中で確認できるような機会を設けるなど、学習内容を深化させられるような取り組みをしていきたい。また、授業ノートに関しては、定期試験時に回収し評価しているが、中間で作成のポイントを抑える等の工夫を行ってきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こどもの理解と援助	2	前期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格取得に必要な科目であるため、保育士資格を希望する学生は全員受講している。しかしながら受講動機において資格取得が必要であると認識していない学生も少なからずいる。授業初回にカリキュラムマップを用いて説明してはいるが、より丁寧に伝えることが必要であると思われる。受講学生は1年次に教科や実習の中で乳幼児の発達の様子をある程度理解していると考えられるため、本科目では、実践事例を中心に実際保育者としてどのように子どもを理解し援助すればよいかを理解できるように授業計画を立てた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は79.9点（最高点97点、最低点33点）であった。評価に際しては定期試験は実施せず、普段の提出物やレポートによって行っているが、提出物の遅れにより点数が伸び悩む学生が複数見られた。</p> <p>「到達度自己評価」、「授業の質評価」では多くの学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしており、全体を通して目的はやや達成されたのではないかと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられており、保育士資格（必修）の科目である。受講生は資格を取得する目的を持っているため、比較的受講に対して前向きな学生が多いと考えられる。

また、本科目では、個の対象の理解や集団の理解、それに対する保育者の援助のあり方など、実践事例を中心に読み解いていった。学生が保育者として子どもを援助する際の視点を育むことができたのではないかとと思う。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

実践事例については、学生たちの経験に合わせてなるべく多くの保育観や子ども観と結びついた意見を踏襲していきながら、教師からの事例の分析を中心に授業を展開した。複数の学生の発言を取り入れることにより、さまざまな保育観に触れる機会が持てたのではないかとと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

全体的には学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。本科目は、前半は1年次の学びと実習を振り返る形で講義を行い、後半は6月に行われる実習での自身の経験をもとに実践事例を分析していきたい科目である。

保育としての援助を行うためには、子ども理解は必須である。保育者が目の前の子どもの様子や場面をどのように捉えるかによって援助の方法は異なる。これらは理論のみならず実習等の経験を深めていくことが重要であるため、実習後の振り返りをより多く取り入れると同時に、実習を実施していない学生が取り残されないように配慮していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	村上 里絵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容総論	1	前期	必修	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「保育内容総論」の開講にあたって、小学校以降の教育と就学前教育（保育）との違いをまず押えました。その上で、就学前教育の特徴とその後の教育に続く重要な基盤であることを意識して伝えました。具体的には、幼稚園・保育所・認定こども園における生活と遊び・活動の場面で、どのように子どもたちが育まれているのかについて事例を示して説明し、保育内容（活動）は領域を一つずつ取り出すのではなく、総合的に捉える考え方を示しました。保育内容は、まず目の前の子どもの姿から始まり、その子どもたちの姿に沿ったねらいを立て、そのねらいを達成すべく「保育内容」を一つの領域に偏ることなく、総合的に考えていきます。その考え方が、子どもたちの成長発達を支えているのだということを解説しました。今年度は、対面での授業で表情を読み取りながら、理解が難しそうな事例に関しては、何度も説明するなど、少しずつ授業を進められたのは授業に集中できた証だと思われま。8回目の授業で1回目のテキスト持込みのミニテスト、15回目2回目のテキスト持込みのミニテストを実施しましたが、Aクラスの平均値が92.8点、Bクラスの平均値が85.6点と高得点を示し、授業内において重要ポイントを理解していることがうかがえました。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された				どちらともいえない
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>ミニテストにおけるABクラスの平均点は、89.2点であり、全体を通してかなり理解をしているものと思われる。学生評価の到達度自己評価において、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の項目で4.2点を示しており、知識を確認したり、新たに得ることができたと思う学生が多かったと推測できます。技能表現に関しては、今後実習に行き、学んだことを確認していこうと期待しています。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

「受講動機」に関しては、「必須科目である」の理由が89.6%であり最も高く、「資格取得に必要である」が52.1%であることから、資格を考えていない学生も受講していることがうかがえました。しかし、到達度自己評価において「職業選択の参考になった」の平均値が4.3ポイントであり、これは、保育現場の事例を語ったことで理解が深まり、興味関心が高まったのではないかと考えられます。今後、「保育内容総論」の授業の重要性を認識するのは、実習に出かけていったり、保育現場に就職したときなのだろうと推察し、この段階では内容は妥当であったと思われます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

それぞれが授業に集中できるように、授業の合い間に学生同士のバズセッションを入れたり、ワークをしたりしながら、主体的にものを考えられるように進めていきました。もしかしたら、映像や動画といった資格情報が必要なところもあったかと思いますが、テキストの写真や現場における事例説明で、保育のイメージは持て、授業の質は悪くないのではないかと思います。学習量の評価で「何をしたらよいかわからなかった」という自由記述がありますが、授業内に「家庭学習」として課題を出したことは「学習量」に繋がっていないのだろうかと推察します。この点に関しては、工夫していきたいと思えます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

「保育内容総論」の授業における「知識の習得」や「理解」は、かなり評価できると思われますが、学生の「予復習時間の確保」や「自発的学習」について、自覚を促す「具体的課題」や「興味喚起」が教える側の課題であると思われます。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	平 寛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「表現(造形・絵画表現)」	2	前期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○受講動機をみると「必修科目である」48.3%、「資格に必要である」が93.1%と2つの数値に差がみられるが、「関心のある内容である」44.8%と去年の33.3%と比べ改善があった。これからも出来るだけ具体的な事例を挙げ、造形表現に関心を引き付けるよう改善していきたい。</p> <p>○コロナ禍での対面授業だったが、適切な課題制作の量質で学生も積極的に授業に取り組んでくれた。去年の反省を考慮した授業内容だったが、少数の学生（造形に苦手感をもっている）が負担と感じているようだった。もっと、細やかな説明や個別に質問等を出来る時間を準備しなくてはならない。また、使用する材料、制作期間等の調整についても考慮していきたい。</p> <p>○造形表現は個人差が大きいため、制作期間の時間的配分、造形室ではない環境下での作品制作の材料準備等、これからももっと考慮していきたい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は、84.8点で去年の平均点79点に比べ、平均値が向上した。概ねの学生が標準レベルを達成できたが、目標点に達成できない学生が数人いた。造形表現は、同じ空間と環境で、和気藹々とお互い刺激しながら制作していくことが理想だが、昨年のWEB授業と比べ今年の対面のみの授業では、学生達の相互作用もあり積極的に授業に臨んでいた。昨年の「到達度の自己評価」では、低い項目があったが、今回の「到達度の自己評価」では、全ての項目で4.3点以上の結果だった。これからも、学生達の理解や習熟度を上げるための努力を行っていきたい。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップの位置づけからみでの内容的妥当性
本科目は「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」における領域「表現（造形・絵画表現）」に基づき、造形表現の楽しさや面白さを体得できるよう造形実技演習、教材研究をおこなう科目であり、選択科目である。「自由記述の意見」にあった材料等の準備の大変さや作品づくりの大変さ等の学生の意見は考慮に値するが、一定の学生は十分目標値を達成している為、内容的には妥当だと考える。

②DP、技能・表現の目標からみでの内容的妥当性
一定の学生の制作に対する姿勢や課題作品の質等を鑑み、内容的には妥当だと考える。

③まとめ
以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

一昨年の授業の評価において「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が2.9と少し低かったが、昨年、今年の授業の質の評価は、4.4点以上だった。これからもWeb授業や対面授業において、学生がもっと意見が言える時間をつくるべく心掛けていきたい。作品の相互鑑賞等で他の学生の作品を評価し合う場を設けたが、自分の作品に対する意見感想の場をもっとつくってきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」における領域「表現（造形・絵画表現）」に基づき、造形表現の楽しさや面白さを体得できるよう造形実技演習、教材研究をおこなう科目である。Web授業でも対面授業でも、もっと積極的に自分の意見の交換や発表等、取り入れていきたい。また、学生達が負担と考えていた授業内容等、対面授業では丁寧に説明し、なぜこれをおこなう事が必要なのか等、事例を挙げながら授業を進めていきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「表現（身体・音楽表現）」	2	前期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 受講動機が「資格習得のために必要である」という理由は100%の学生が挙げているが、「関心のある科目である」はその4分の1の25%と低かった。24人の受講生のうち、授業評価の回答者がわずか8人という少なさで、少し数字に信ぴょう性が欠けると思うが、評価は真摯に受け止めたい。保育の場では、子どもの音楽表現を保育者がどのように援助していくかを求められていて、従来の受け身の受講に終わるのではなく、学生自らが主体的に取り組み学ぶ、「参加型」の授業形態をとったが、子どものうたへの知識・自ら表現する機会の乏しさなど、学生の学習準備が整ってないことがあった。グループでの発表では、学生間でコミュニケーションをとりながら生き生き活動している場面も見られたが、身近な打楽器や、簡単な音楽を使ってその表現を広げる活動にはなかなか自信が持てなかったように見受けられた。保育科入学までの学生の音楽体験が年を追うごとに少なくなってきたので、課題の前に常識的な子どものうたの時間を設ける必要性を感じた。</p> <p>②音楽表現遊びを実体験することを主眼として授業を進めたが、DP到達度自己評価「自分なりの目標を達成した」が3.9と決して高い値ではなかったもので、保育の現場では非常に大切な活動なので来年度以降の授業担当者に期待したい。到達度自己評価の中で「全くそうでないと思う」「少しそうではないと思う」という評価は0人だった。</p> <p>③グループ発表は、発言に配慮しながら良い点を認め合う協力的な空気が感じられた。最終講義の日には学年全体で成果を発表し合う、場所の確保ができればよかったと反省している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①身体・音楽表現を体験し、授業評価では「学生が発表する機会がつけられていた」に「わりとそうだと思う」「かなりそう思う」が84%だったが、「少しそうではないと思う」と回答した学生が一人いたので、重く受け止めている。協力し合って発表を経験しても、物足りなさを感じたのであろう。</p> <p>②「学生の質問に答える」では授業の内容をプリントに返却する際にコメントを書いたりして説明を加えるように努めたが、上記の項目と同じ数字で「そういう機会が不十分だった」と評価する学生がいた。学生の問いに丁寧に答えることができる質問の時間を設定できなかったことを反省している。</p> <p>③図書、インターネットの利用が10%未満と低いのは次の担当者に申し送りをしておきたいと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP学生の行動目標からみた内容の妥当性</p> <p>学生の行動目標のひとつである「即興演奏の基礎を学ぶ」は、教師による実演を示すにとどまってしまった。学生の実態に即した即興は様々な楽器に広げることができた。到達度自己評価の「専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」は「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」「まあまあそう思う」で100%だったので、授業の内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②自由記述から「楽しかった」という好意的な意見があった。しかし全体としては「説明は理解しやすいものだった」は「わりに」「まあまあ」「かなり」の合計が91%、「課題は明らかであった」95%となっているので、内容的には妥当であったと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「説明は理解しやすいものであった」についてが、かなりそう思うが50%であったのに対して、「全くそうではない」と回答した学生が一人いて、自由記述にも「説明が所々分かりにくかった」というものがあった。私自身、不安を覚えたことがあったので、一度自分のマスク越しの話がどのくらいの明瞭さを録音で聞いたが、やはりかなり聞きにくいと感じた。教師の側ではそのように気を付けて講義をしてきたつもりだが学生の側との認識の違いがあり反省している。講義のみのマイクをずっと使用できる授業でないで、これからも心して取り組んでいかなければならない。緊張感の強い学生が、少しずつ皆の前で表現することが出来てきていたのは望ましい成長だった。他の人の発表などを参考にしながら自分の表現を充実させていけるように支援した。自分の得意分野に気付き、個人で、あるいは集団で音楽を使って表現する楽しさを味わってほしいと考えて授業を勧めた。「表現」を幅広くとらえ、保育科のカリキュラム全体の中で、ピアノ演奏への苦手意識を払しょくしていかなければいけないと感じた。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>具体的な表現教材や楽曲を用いて身体・音楽表現を体験したことで、「いかに子どもたちの表現したいという気持ちを引き出すか」という本科目の目標は概ね達成できたが、すべての発表に十分な振り返りの時間をとることができなかった。一つひとつの課題を丁寧に検証していくには課題のポイントを減らすことも検討する必要がある。学生が手軽に行うインターネットの検索による情報収集は、時に間違った情報もあるので、責任のない個人が安易にアップした演奏や演技を模倣しないように、図書館の利用を重ねて推奨した。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	河瀬 洋美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育実践の理解と方法	2	前期	選択	いいえ	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期における子どもの発達と保育者の援助、指導方法について様々な事例を提示して授業をすすめた。 ・保育の基本的な考え方や、一人一人の子どもを捉える視点と子どもを深く理解してほしいと思い、資料を作成した。 ・実習の体験をもとに各年齢の特質や指導の要点を絞って指導した。 ・授業ではレポートの提出を数回行ったが、ほぼ期日通りに提出がされ、内容もしっかりしたものが多かった。 ・課題に対して真摯に取り組んでいることがわかった。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された		やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの内容から理解度が確認できた。 ・今後は板書をゆっくりすること、早く消してしまわないことを心がけたい。 ・授業以外で学習に取り組んでいない理由が明らかだったので、より分かりやすく、時事にも関心が持てるようにすすめたい。 ・考えを文章にまとめる力は今後も必要なので、レポート作成は継続したい。 					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

- ・授業が楽しかったという意見が一人でもあったことは励みになった。
- ・評価としては平均的な範囲だったが、社会に出てより力になるような内容を提供したい。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

- ・資料の充実。テキストを使用していないのでより一層、充実した記述が求められるのだと思う。内容をわかりやすく終了後も役立つような資料を目指したい。
- ・保育者は幅広い知識と豊かな感性を求められる。読書の推進や時事問題への興味関心を持つようにしたい。
- ・質問の時間を設けるといいのかなと思うが、課題を進めるほうについて集中してしまい、反省している。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

- ・理解しやすい内容、実践にすぐ生かせるような授業を目指したい。
- ・対面事業になり、ほっとしているが授業中に眠くならない工夫も今後は必要かと思っている。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
障がい児保育演習	2	前期	選択	いいえ	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のために必要な科目であり、受講生は保育士資格の取得と保育現場での障がい児保育実践のための知識と技術の習得のために受講している。そのため、保育現場で多く出会う発達障害の子どもたちとその保護者への支援を中心に講義内容を構成した。この授業を受けたあとの夏休みには、半数以上の学生が障害児施設で実習をおこなうことも考慮して授業をおこなった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の自己到達度評価についての項目は、いずれも平均が3.9以上であり、授業内容の理解について、各自で手応えを感じていることがうかがえる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

1年生後期の「特別支援教育論(障がい児保育含む)」を受けての授業であり、保育現場での障がい児保育をより実践的に学ぶ位置づけである。そのため、事例を多く用いて、学生が子どもたちひとりひとりの様子をイメージしながら受講できるような内容にした。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

自分自身が経験した事例をもとにしながら、学生が実習先や就職先で経験するような事例を多く作り、よりリアルに事例について考えることができるような授業構成にしていきたい。また、コロナ禍で制限されていたグループでの話し合いなどを活用しながら、アクティブラーニングの要素を取り入れた授業構成にしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

現場の保育者に求められるのは、確かな知識に基づいて子どもたちひとりひとりに対して現場で考えて判断する力である。そのため、授業の中でも事例に沿って「考える」ということを要求している。「さまざまに検討する力をえることができた」「的確に判断する力をえることができた」という項目に対して、多くの学生が「わりにそうだと思う」「かなりそう思う」と回答していることから、授業目標を達成できているのではないかと考えている。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	鬼塚 香

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子育て支援	2	前期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格取得のために必要な科目であるため、ほとんどの学生が毎回出席していました。</p> <p>この授業は知識を新たに得るといよりも今まで学んできたことを実際に使ってみる、使えるようになることを意識して組み立てました。昨年度はオンライン授業などで実際に取り組んでいただく機会が少なかったのですが、今回は数人でグループを作って話し合ってもらう機会も多く設け、熱心に取り組んでいただけたと思います。また、昨年度は事前事後の学習時間が少なかったため、今年度は授業冒頭で前回内容を一緒に復習する機会を作りました。そのことで、授業内容の連続性を意識してもらえたのではないかと考えます。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>履修学生の最終的な成績分布は、S23.4%、A44.7%、B19.1%、C8.5%、D0%、E4.3%でした。ほぼ全員が標準的レベルをクリアし、32名が理想的レベルに達していました。</p> <p>意欲関心 (DP3) については、授業後に毎回提出していただく出席カードへのコメントで多くの学生が、授業でお伝えしたことやワーク内容について気づいたことや考えたことを書いてくださいました。最終レポートでは、この授業で学んだこと、今後への活かし方、自分の課題について、ほとんどの学生が自分の言葉で表現できていたと思います。授業アンケートでも、「専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」という項目で、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」と回答した学生が85.7%でした。よって、この項目は達成されたと考えてよいと思います。</p> <p>また、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」という項目で、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」と回答した学生は90.5%でした。保育士の倫理綱領はかなり難しかったと思いますが、態度 (DP4) についても達成されたと判断するのが妥当だと考えます。</p> <p>子育て支援に関する技術については、授業評価アンケートの「必要となる技術を身につけることができた」という項目に、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」と回答した学生が81%でした。授業内でグループワークを行い事例検討をするなかで、子育て支援の方法を考えることはできたので、技能・表現 (DP5) については、達成されたと判断しました。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門教育科目」のうち「保育の内容・方法に関する科目」です。保育士の資格取得に必要な科目であるため、選択科目であっても資格取得を目指す学生は履修します。1年次に保育の知識と社会福祉の基礎を学んだあと、この科目で子育て支援の考え方や方法を学び、履修学生も一定の成績を収めています。このことから、CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的には妥当だったと考えます。

また、受講動機を見ると、ほとんどの学生が「資格取得に必要だ」「必修科目である」を選んでおり、主体的に授業を履修していました。毎回、熱心に課題やレポートに取り組み、シラバスに提示した学生が達成すべき行動目標やDPについても内容的に妥当だったと考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

この授業は話を聞くだけよりも、実際に考えたりやってみたりすることが大切ですので、昨年度と同様、課題はできるだけシンプルにし、授業内で終わるように工夫しました。着席位置の移動をお願いしたり、話し合いのポイントをうまく伝えられなかったりして、履修学生にご迷惑をおかけした部分もありますが、大変協力的に取り組んでいただきました。

いろいろな学生と話し合える機会が大切かと思い、毎回グルーピングをしてみました。アンケートでは着席前後の学生同士で話し合う機会でも十分だというようなご意見をいただきました。確かに移動にご負担をおかけした事実もありますので、今後の授業で参考にさせていただきたく思います。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

初めて顔を合わせる教員との波長合わせが難しかったでしょうが、毎回、熱心に授業や課題に取り組んでくださり、この授業の狙いはほぼ達成できたのではないかと考えます。これは履修学生の努力と協力的な姿勢には到達できないことが考えますので、皆さんが積極的に授業に参加して下さったことに感謝したいと思います。

課題としては、子育て支援の技術習得には体験も重要です。知識を得るだけでなく試してみる機会を今後も確保することが大切だと考えます。そのためにも課題の提示の仕方や内容について、より分かりやすく学生に伝えられるように日々考えていきたいと思っています。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
乳児保育Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	45

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・本科目は保育士資格取得について必修の授業で、保育所に就職希望の学生を中心に、また認定こども園の増加に伴い、幼稚園に就職希望の学生も「保育教諭」の資格取得に向け、主体的に受講する学生が多かった。</p> <p>・1年次の乳児保育Ⅰでの講義と保育実習Ⅰでの保育実践を受けての授業であるため、実習での疑問点や課題等についても検討していきながら、より内容が深まるように、また実習や保育現場での実践面で役立つように、実際に人形や玩具等を用いた演習を取り入れて授業を行った。教員が実践モデルを示すことにより、関わり方をイメージできるように心掛けた。</p> <p>・子どもの個人差を踏まえながら月齢を追って発達の姿について解説したうえで、その発達を支える関わり、また保育現場での実践について保育のポイントを押さえて解説をしながら演習を行い、保育現場に出ることを想定して各年齢ごとの指導計画を課題とした。それを現場で役立てられるように留意しながら添削することで、実践力につなげた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された			やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルでの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・トータルでの評価は85.7点（±3.8）で、再試対象者は0名であった。総合評価としては多くの学生がA評価以上の理想レベルに到達できており、乳児保育における思考判断は概ね達成されたと考えるが、適切な指導計画の作成等では今一つと思われる学生もいた。</p> <p>・今年度は全面的に対面授業ができたので、子どもや保護者への適切な遊びや養護技術などを実施する技能表現において、実際に学生に実践させて意見を述べ合うことができたため、学生同士で意見交換をする中で色々な視点や考え方を学ぶことができたと思われる。</p> <p>・小グループでのグループワークでは、回を重ねるごとに意見が出るようになっていった。しかし指名をすれば意見を出せるが、積極的に発言することを躊躇する学生もおり、学生同士の積極的なディスカッションとしては十分とは言いがたかった。</p> <p>・授業アンケートによれば予習・復習をすることが十分できていたとはいえなかったが、レジュメに従って授業を進め、指導計画の作成と検討を行ったことで思考判断の力は定着したものと思われる。特に現場での事例を多く取り入れたことで子どもとの関わりをイメージしやすくなり、それが適切な指導計画の作成に反映されたとと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

・本科目は、「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられており、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生は資格の取得に向けて積極的に授業に臨む姿が見られた。

・乳児保育Ⅰでの学びに、保育所実習Ⅰでの実践の体験を受けて本授業を行ったことで、知識理解に加えて思考判断の力が深まったと考える。また担任の実践デモンストレーションを見たり、指導計画を立てて検討したりすることで、技能表現の力も加わり、保育所実習Ⅱ、Ⅲでの実践力につながっていったと思われる。

・現場での事例（プライバシーに配慮して加工しながら）を用いて解説したことより具体的な理解ができたのではないかとと思われる。

・以上より内容的妥当性には問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・テキストを用いた解説に加え、具体的な乳児のイメージが持てるように画像が載ったテキストやパワーポイントを活用するとともに、現場でのエピソードを盛り込んだ説明を心掛けた。

・今年度は完全に対面授業になったため、事例に基づいたロールプレイも多くを取り入れ、学生からの質問や意見が出しやすい授業を工夫した。2月の保育実習を経験したことを受け、8月に再度保育実習に行くことを想定して、ロールプレイではそれぞれの学生が子どもの姿をイメージしながら考えたことを発表することができていた。

・次回の授業内容を知らせて予習を促し、指導計画の作成の課題を出したが、授業アンケートの結果を見ると授業の課題以外の学習にはつながっていないようであった。さらに授業内容を記載したテキストの箇所を明確にし、質問内容を工夫して学生が予習・復習の有効性を実感できるようにしながら、主体的な学びを引き出していく。

・保育現場でのエピソードは、学生の理解を促すために有効と思われるので、守秘義務に配慮しながら継続していく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

・学生の達成度自己評価とトータルの成績より、概ね授業の目的は達成できたと考えられる。また指導計画の作成が実習現場で役立ったとの学生の意見が多く聞かれた。指導計画の作成と検討については継続していきたい。

・さらに実習や現場での乳幼児との関わりを実感できるような内容を工夫し、学生とのやり取りを重視しながら主体的な学びを促していきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの健康と安全	2	前期	選択	いいえ	45

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格取得のための必修科目です。授業評価アンケートの「受講動機」では、「資格取得に必要である」と回答した受講生が94.1%であり、「必修科目である」と回答した受講生は55.6%であったため、本科目の位置づけをきちんと理解したうえで受講してくれたのではないかと考えています。「5. 情報利用」からは、きちんとシラバスの授業計画を見て準備を整え授業に臨んでくれたことがうかがえます。</p> <p>ただ、本科目は最終講まで毎時間、授業時間いっぱい演習をおこなっていたため、また、本科目を受講する教室がWi-Fiが繋がらないこともあり、授業評価アンケートは授業時間内ではなく受講後に各自回答して提出するように求めました。その結果、回答数が18と少なく、このアンケート結果だけでは評価できないところもあると思っています。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された			やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケート「2. 到達度自己評価」のうち「自分なりの目標を達成した」は平均値が4.3であった。全体的にみると、「2. 到達度自己評価」は、平均値4.2-4.6、中央値4.0-5.0と比較的高値ではあるため、受講生の自己評価はまずまずだったのではないかと思います。成績評価も高得点が多く、1人も不可になることがありませんでした。特に本科目が1年生後期科目の「こどもの保健」を踏まえた演習科目であることから、学生さん達の回答も「知識の再確認」「思考力」などの項目が高値であったことは、学習目標達成に対して意識を高く持って受講してくれたことがわかりました。ただ、演習は時間も物品も限られているため、受講生自身が十分満足できるほどの体験ができなかったのは、「(7) 技術を身につける」という項目の数値が4.3にとどまっていることが意味していると考えられます。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

上記に示した通り、位置づけとしては妥当と思われます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目の最も重要な演習に「応急処置法（心肺蘇生法含む）」は昨年度に引き続き、本学保健福祉学部看護学科のご協力のもと、急性期看護の助教、小児看護の助手の2名にお手伝いいただき演習を行うことができました。今年度は昨年度の演習を踏まえ、1クラス2コマ続きで演習をおこない、ケガ等の応急処置法と心肺蘇生法を1教員あたりの学生数をできる限り減らし、詳細に手技が学べるように配慮しました。また、実際の保育現場で遭遇するケースを事例としてロールプレイする機会を設け、学びを深めることができました。受講生の授業後の感想もいづれにもなく熱のこもったコメントが多く学びが大きかったことが示唆されました。学科の人員配置上、助手を置くことができず、私一人で演習の手技指導を担っていますが、助手がいることでこのように満足度も違うことを実感し、本当はもっと丁寧に一人ひとりへの手技指導がしたい、と言い難い想いを抱えています。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目が手技指導を中心とした演習科目であるため、細やかな指導ができるか否かが授業に対する満足度と学生自身が感じる高い目標達成感につながるとひしひしと感じるところです。ただ、次年度は、学生数などの関係上、全クラス単位の開講となるため、さらに人数は増え、しかし、少ない物品の数は変わらず…で行わなければならないことに頭を抱えています。物品は、看護学科と助産別科にお願いをしてお借りしなければならないと考えております。指導については、方法を工夫しながら、できる限り今までの水準を維持できるように努めていきたいと思っております。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども音楽療育演習	2	前期	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①[こども音楽療育士]資格のための科目なので、受講学生の目的意識がはっきりしているので学習準備は整っていた。後期の「こども音楽療育実習」の実施を鑑み、具体的な楽曲に数多く触れて、その曲を用いる意義、子どもへのはたらきかけの工夫を学べるように授業を実施した。</p> <p>②子どもの反応を予想し見通しを持った計画を立て、セッションを進めるように授業を計画した。楽器操作などの具体的な音楽テクニックを学びながら、子どもの変容と、セッションの振り返りを行うことで、学生各々が学ぶべき課題を明確にすることができた。</p> <p>③『ユニバーサルデザインの音楽』という考え方にに基づき、課題に適した楽曲を選択し、セッションとして発表することで問題点を共有しながら学びの場を充実させた。</p> <p>④学生の自由記述の中で、「教師の説明が分かりにくいことがあった」という内容のものがあり反省した。丁寧に言ってきたつもりだが、マスク越しの音楽への指摘ということでテンポのことなどが十分伝わらなかったのではないかと考えている。今後、学びに支障がないように十分説明を尽くしたい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①学習到達度自己評価は平均値3, 9で「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」がゼロだったので概ね達成できたと考える。</p> <p>②「知識の確認・修正・新たに得る」の項目では4, 9という数値で、概ね目標を達成できたと考える。「専門分野の課題を検討する力」「学びを深めたいという意欲を持つ」という項目は「全くそうではない」「少しそうではない」が0人だったので、授業の内容に関心を持ち、丁寧に考察しながら、実際のセッションに臨むことが、できてきていると考えた。</p> <p>③A4サイズの専用のノートを作り、学びの積み重ねをするように指導したが、そうした学生が半数にとどまっていたので次年度の課題である。後期の「こども音楽療育実習」につながるので継続したノートの必要性を、授業の半ばでも申し伝える必要性を感じた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①自由記述の中で「外の会場を借りて行うとは聞いていなかった」ということがあがっていたが、これは担当者同士で十分議論して決めたことであるので、学生へはその旨を説明し、また市内の幼稚園保育園からは、コロナ禍の中、2年続けて行ったZOOMで園と大学をつなぐ「音楽療育おとあそび」も今年もぜひ実施してほしいという依頼があったので、こちらの企画も実施することになった。いずれの説明も学生への説明は心を尽くして行った。授業以外でも質問できるオフィスパワーの周知なども含めて、今後徹底していこうと考えている。

②音楽療育の分野は、卒業後も多くの学びを自身で獲得してほしいので、到達度自己評価の「学びを深めたいと意欲を持つことができた」について学生が「わりにそう思う」「かなりそう思う」を合わせて50%にとどまったので、この数字を反省点に今後の学生への啓発にさらに力を注ぎたいと考えた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①学習量の評価では30分程度の準備の時間を取った学生が80%で、これは自分の発表のために予習をしたという数字であると考えられる。様々な曲を熟知して自由に使えるようにするためには、もっともっと自分で楽曲の研究をしてほしいと願う。日々の積み重ねが知識の定着を目指すことに繋がるので、さらに啓発していかなければいけないと考えた。

②障がいのある子どもへのはたらきかけに大変優れているノードフ・ロビンズの楽曲について、本時間内に十分に伝えられなかったので、情報利用の中で、具曲の紹介も含めて図書館を利用して様々な楽曲にふれ合うことを推奨していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「療育的音楽活動」として、音や音楽を聴く活動、身体活動、楽器を使った活動、歌・発声の活動を学び、障がいのあるこどもの豊かな音楽体験を積み重ねる手立てを見つける学習に取り組んだ。「身体の動きに合わせた楽器演奏」「こどもたちの声に合わせた音楽」というテクニックの基礎を学び、音楽を使っての子どもの変容というものを学生どうしでも話し合う授業展開を行うことができた。今年も本授業で学んだ音楽活動が他の保育科の授業で、あるいは地域のサークル活動で使われ、音楽体験が広まってくれたことは、大変うれしい成果だったと考える。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
音楽の基礎	1	前期	選択	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。</p> <p>1年次前期の科目であるため、今後音楽活動をしていく上でまずは音楽の基礎的な内容を学ぶことは大切である。これまでの音楽経験から既に音楽の知識をもっている学生と、これから初めて学ぶ学生と様々な経験値の学生がいるため、單元ごとに小テストを行うことでそれぞれの学習状況を把握するとともに復習への意識を高めた。</p> <p>また、6つの段階に分けたソルフェージュ教材を準備し、毎回の授業後半に取り組むことでリズム感や基本的な発声について演習を通して理解が深まるようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均79.8点である。（最高100点、最低38点、S-13人、A-21人、B-7人、C-9人、D-2人）である。S,A評価の学生が65%であることから、目標はやや達成されたと考える。</p> <p>学習量の評価では「予復習時間」「自発的学習」に取り組んでいない学生が約30%みられ、理由として「何に取り組めばいいのかわからなかったから」というコメントもみられた。復習のポイントなどは伝えてきたため取り組んだ学生からは「リズムうちの練習をした」「色々な楽譜をみて何拍子か考えた」など具体的な記述が昨年度よりもみられた。次年度は具体的な内容を明確に伝えるだけでなく復習する必要性を丁寧に伝えていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門科目」における「保育内容の理解と方法」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(必修)の科目でもある。そのため学生の受講意欲も比較的高い。

DPに関しても、「到達度自己評価」の「知識・理解」、「技能・表現」の両方において、約95%の学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答しており、最終的な評価からもほとんどの学生が現段階での課題は達成できていると考える。

以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今年度も初回授業において、授業内で取り組む範囲や小テスト等を具体的に伝えてきたため、「授業の質評価」での平均値は4.2~4.5であった。

音楽の経験が少ない学生にとって内容が難しいところもあるため、授業内で机間指導を行い個々の学生の状況をみるだけでなく、授業外にも質問を受け付けると声掛けをしていたため、「自分なりに分からないところを聞いて理解した」といった記述がみられた。

しかし、中には1, 2名と少数ではあるが「少しそうではないと思う」と感じた学生もいるため、分かりやすく丁寧な説明と学生が発言しやすい環境を作れるよう心がけていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の目標達成状況や評価状況から、概ね授業の目標は達成されたと考える。これまでの音楽経験から音楽的知識が全くない学生もよりスムーズに理解を深めるだけでなく、実践に活かしていくことができるよう授業展開を図っていきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こどものうたと伴奏法Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。</p> <p>本科目では個々のレベルに応じてピアノの技術を習得していくため、非常勤助手の教員6名を含め8名の教員のもとグループをつくり個人レッスンの形で進めている。グループで偏りがでないよう、入学前までの学生のこれまでの音楽経験や、一年次に開講している「こどものためのピアノ」での進捗をもとに、個々のレベルに合わせて均等にグループ分けをし、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。また、担当教員のレッスン以外に、科目担当者のもとで1人2回ずつ中間発表・グループレッスンの機会を設けている。人前で弾くことに慣れるだけでなく、実践に即した形(保育者(弾き手)・子ども役(歌い手))で発表を行いそれぞれ感想を伝え合うことで、保育者に必要なピアノ演奏技術について理解を深められるよう心がけた。</p> <p>また、実習や就職試験でピアノの実技が控えている学生には、必要に応じて授業内で相談にのり対応していくようにしている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は70.1点であった。(S-5人、A-13人、B-3人、C-4人、D-20人)本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。</p> <p>しかし、「到達度自己評価」の総括的評価の平均値は4.2と回答されており、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.1であったことから、成績にばらつきはあるものの保育者として必要な技術を身につけるために個々のペースで着実に取り組んでいると考える。</p> <p>以上のことにより、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門科目」における「保育内容の理解と方法」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。

DPに関しては、「到達度自己評価」の「技能表現」において、昨年度までは全ての学生が「わりにそうだと思う」以上を回答していたが、今年度は2名の学生が「少しそうではないと思う」と感じている。昨年度よりもピアノの経験がない学生が増えているため、今後は個々の学生に合った適切な技術をより明確に伝えていけるよう工夫していく必要があると考える。

一方で、課題以外に取り組んだ学習として「実習の曲」や「弾き歌い」、「教科書以外の曲」という記述が多くみられ、2年次での実習経験や就職試験の準備をしていく中で、より真剣に保育者として求められるピアノの力を身につけるために意欲的に取り組む様子がみられた。

以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

一対一の個人レッスンという体制により、学生が担当教員に相談しやすく個々の状況に応じて課題を進められる反面、学生によっては直接発言しづらい環境でもあるため、教員間の情報共有・連携だけでなく、科目責任者の教員が全学生の進捗を把握し、学生とコミュニケーションをとれるよう心がけていきたい。

自由記述において「実技試験の仕方が理解し難い、単位が貰えない試験を受ける意味が分からない、試験の順番が最初と最後では練習してからの時間の差があり不公平」という記述が1名あった。規定の課題を修了しなかった学生にも試験で演奏するように伝えているが、保育現場に出たら人前で弾くことになるため学生には1回でも多く人前で弾くことを経験することが大切という意図でこのような体制をとっている。この意図は伝えてきたが、他の学生の記述にも「ローテーション(中間発表)は1回でいい」とあったことから、今後は意図がきちんと伝わるよう、より明確に丁寧な説明を心がけていく必要がある。

試験の順番については事前に学籍番号順と伝えた上で行っており、前期後期で順番を入れ替えるよう配慮している。練習してからの時間の差については、日頃の練習の積み重ねで技術は培われること、今後就職試験やどんな状況になっても自分の力を発揮できるように準備をする必要があることを丁寧に学生へ伝えていきたい。

また、本科目は個人レッスンの形で課題を進めていくため授業を欠席すると課題が進まない。課題を修了するためには授業への出席が大切になるのはもちろん授業外の日々の練習も重要となる。そのため学生の出席状況や練習状況を把握するため科目間だけでなく教務委員や学科教員とも連携をとるよう心がけている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。上記の課題を改善していきながら、今後の授業を展開できるよう心がけていきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こどもの発達理解とあそび	2	前期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要な科目であることを学生も理解しているため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生は全員受講している。受講学生は、1年次の授業及び実習での経験を通して、子どもの発達理解や個別の特性を理解しつつ、ある段階であるが、2年次の実習では実際に子どもに“あそび”を実践するため、授業での体験は保育者としての視点を持ちつつ臨まなければならない。</p> <p>オムニバス科目であり、「あそび」担当教員は、リズム遊び、ルールのある遊び、わらべ歌など、実際に年齢別の子どもの姿を伝えながら、保育者の援助方法、遊びの展開についての教授を行い、実践理論担当教員は、体験した遊びの内容の振り返り、留意点を伝えた上で、実際の実践指導案の作成を指導した。また、0, 1, 2歳児の発達と遊びについては、学生の理解を深めるために別途講義を行った。そのことにより、学生が自分の体験をもとに子どもであれば、という視点を持ちながら振り返りを行う事ができたと考えらえる。</p> <p>授業評価の中に提出物についての指摘があるが、提出物は初回オリエンテーション時に資料を配布し具体的に説明している。それを最終授業前に再度、教員及び学生共に確認しているところを指摘されたと考えられるが、基本的には変わっていないことが理解できるように、今後伝えていきたい。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された		やや達成された	やや達成された	

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は85.0点（最高点96点、最低点60点）である。</p> <p>本科目は、学生の主体性が特に求められる。同時に、保育者としてのスキルを高めていくための思考力や判断力も求められる。授業の振り返りレポートや子どもの発達の状況を踏まえて作成する指導計画などは基本的に授業内で作成することができるように時間を設けているが、時間内に作成が終わらなければ課題になる。多くの学生は時間内に作成できているが、個人によってそれに要する時間に差があるため、作成が進まない学生の状況理解をしていきたい。学生は授業に向けて予習または復習を随時行っており、配布資料を活用するなど、授業が講義時間のみではなく各自の学習につながっていると考えられる。</p>
---	--

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は幼稚園教諭免許状（必修）、保育士資格（選択）の科目である。受講生はいずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。

DPに関しても、子ども理解、保育者としての対応など指導案の作成を重ねる毎に深められており、紹介した遊びを基に他の遊びに興味を持ち調べたり、体験した遊びを対象の年齢に合わせて変化させたり、紹介された教材を作成するなど意欲も高くなっていった。

また、随時ある実習においても本講座で作成した資料等を活かすなど、授業と実践が密接に関連していることがうかがえる。

以上のことより、内容的妥当性には問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「到達度自己評価」に関しては、全員が「まあまあそうだと思う」以上を選択しており、学生の満足度は高いと考えられる。しかしながら、授業の質的評価において、(1) (3)に「少しそうでないと思う」を選択している学生が複数名いる。(1)に関しては、授業内で評価の観点も伝えているが、これからも意識していきたい。(3)については、科目の展開の仕方がオムニバスであるものの、それぞれが関連しあっているため、両方の授業を理解することが求められる。より、教員間の連携を深めていきたい。

計画に際しては授業で体験した内容を実習で実践しており、特に6月の実習後は体験を振り返り、実際の子どもの様子を意識しながら立案されていることがうかがえる。また、あそび実践の後、振り返りを記載する時間を設けた。これにより、指導計画作成の際の理解が深まったようである。しかしながら、計画作成に苦手意識を持つ学生も数名いた。個別の指導をより丁寧に行ってきたい。

今回、記述の中に、あそび実践に関しての教員の指導についての指摘があったが、内容は「子どもたちに伝えるように自分達にも伝えてほしい」という主訴であった。本講座は、保育者を養成するための科目である。授業は学生が遊びのレパートリーを増やすことを目的としているため、保育現場と全く同じように進めることは難しい。その意図を伝えきれていないことが要因であると考えられるため、改善をはかりたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。

担当科目教員同士で授業時の様子などの意見交換を行いながら、計画を進めることによって、学生の現状を把握しながら授業を展開できたのではないかとと思う。

今回出てきた課題点を次年度改善できるようにしたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども家庭福祉	1	前期	必修	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の受講対象者は1年生である。卒業必修科目であり、保育士資格取得のための必修科目であることから、全ての学生が受講している。開講時期が1年生前期ということもあって、保育者が福祉を学ぶ必要性を理解できずにいる学生も少なくない。そこで、保育者が福祉を学ぶ意義等について繰り返し説明するなどして、受講の動機づけを行うよう心掛けている。また、学生の学修準備性を高めること、学習状況を確認することを目的に、予習プリントの配布と小テスト実施している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、定期試験、レポート、小テスト、授業への参加度を踏まえて総合的に行った。その結果、全体の成績は平均77.8点であった。学生の到達度自己評価「(1) 自分なりの目標を達成した」の項目では、平均値4.2点（かなりそうだと思う40.0%、わりにそうだと思う43.3%、まあまあそうだと思う16.7%）であり、目標は達成されたと考える。「知識理解」については、「(2) 知識を確認したり、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.4点、「(3) 事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.2点であり、目標は達成されたと考える。「意欲関心」についても、「(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.3点であるため、目標は達成されたと判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられるもので、福祉系科目の基礎となる科目の一つである。保育士資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は高い。学生の自己評価において全ての学生が肯定的評価をしていることや成績評価において一定程度の成果を得られたことから、本科目の内容的妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業では、可能な限り学生が発言できる機会や主体的に考えることのできる機会を設けるなどして、双方向授業を心掛けた。また、継続的な取り組みではあるが、予習プリントの配布や単元ごと的小テストを行い学習準備性の向上にも努めた。「授業の質の評価」に関する全ての項目において肯定的な評価を得ることができたのは、このような取り組みによるところが大きいのではないかと考える。その一方で、図書館やインターネットについてはほとんどの学生が利用をしておらず、今後の課題として改善に努めていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の取り組み状況や評価の結果から本科目の学習目標は達成できたと考える。今年度も昨年度に引き続き「達成度自己評価」「授業の質評価」の平均値の上昇がみられた。一方的な授業展開にならないよう、学生に質問を投げかけたり、学生同志で考える時間を設けたりするなど、学生の能動性を高める工夫を取り入れたことが、このような結果につながったのではないかと考える。また、学修準備性を高めるための取り組みについても、着実に成果につながっているように思われる。今後も引き続き、学生の教育環境を踏まえつつ、教育の質の確保・向上を目指した取り組みを行ってきたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもと健康	1	前期	選択	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生（前期）であり、今後資格を取得するために、子どもの発達や健康課題、生活習慣の形成等を理解することは大切であり、子どもたちが安全で健康的な園生活を過ごすための知識を得るためには重要な科目であると認識している。授業を進めるにあたっては、学生が自らの健康を意識できるように、健康の定義や生活習慣について考えディスカッション等を通して理解が深まるように授業を展開した。また、今後の実習に生かせるように、授業後に内容をノートにまとめるように指導を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は92点（S-48人、A-4人、C-1人）である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Sを取得した学生は、子どもの健康や生活習慣の形成について概ね理解していた。授業評価アンケート「学習量の評価」では、気になったことをネットで調べた、乳幼児期に起きやすい病気や特徴を調べたという意見が見られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門教育科目」における「保育の内容・方法に関する科目」に位置づけられており、幼稚園教諭免許（必修）、保育士資格（選択必修）の科目である。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、子どもの健康と安全をきちんと守って、何が私たちにできるかを考えさせられたという意見が見られた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

健康を理解するために、まずは学生自身の健康や生活習慣を考え、幼児との違いや発達・特異性などを理解できるように丁寧に説明した。また、子どもが安全で健康的な生活を送るために身体的特徴等を考え、安全管理・安全教育の大切さに気づけるようにした。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。今後の実習等で経験や知識が生かされるように、他の授業と繋げて考えられるような授業展開をできるように検討していく。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもと環境	1	前期	選択	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度から開講した科目であり、幼稚園教諭免許と保育士必修科目で全員が履修する。入学後間もない学生が保育の5領域を理解できるよう、できるだけ平易な言葉や表現を用い、もう一つの担当科目「保育原理」の内容と関連付けながら内容理解できるようシラバスを立てた。まずは「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の取り扱い方を学び、5領域に関する他の科目でも活用できるよう工夫した。そのため、学生には学習の予習として、まずは「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の該当箇所を読み込み、どのような内容なのか確認することに加え、復習として穴埋めプリントを用いて振り返り学習ができるようにした。内容理解ができたなら、保育における環境構成と子どもの遊びとの関わりについて学べるようにした。自発的活動としての遊びを、環境構成から理解する意義について講義を行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績について、平均点が88.1と非常に高く、ほとんどの学生が秀または優を取っている。試験の成績も良く、提出物もきちんと提出されていたため高い点数となった。そのため知識理解については十分達成されたといえる。学生の到達度自己評価についても、平均が1つを除いて4.0を超えるものであった。「自分なりの目標を達成した」の項目が3.9だったが、目標設定について授業当初に明確にしていたつもりでも十分に伝わっていない学生がごく少数だがいることを認識した。一方で、専門分野について「学びを深めたいという意欲を持つことができた」が4.3であり、自由記述でも授業内での分からない言葉を自主的に調べるなど意欲的に学習に取り組んでいることも分かった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

この科目の位置づけと内容的妥当性については、十分に妥当であると言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

目標を立てるのが難しかったり内容理解が難しい学生が少なからずいることを念頭に置き、より分かりやすく伝える努力を行う。講義回数は8回しかないが、理解が追いついているかどうか適宜振り返りを行う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

学生の学習成績や授業評価アンケート結果から、学習内容も十分にできており教育目標は達成できていると考えられる。次年度の課題については前項に示したとおりである。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもと言葉	1	前期	選択	はい	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ただの言葉ではなく、幼児が豊かな言葉や表現を身に付けるために、あるいは幼児が想像する楽しさを広げるために、「言葉」の指導をするという事を目標にしている。そのためには言葉の意義と機能を理解すること、また幼児の発達のと合わせて絵本・物語・紙芝居等々の児童文化財を使用しながら想像する楽しさを導き出せる方法を教授した。したがって教材を選択することに関してもかなり吟味して講義をすすめていった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>講義を重ねるたびに学生の関心は高まっていったように思う。それは実習体験を通して自身の努力課題を発見し、克服する際にどうしても通らなければならない登竜門であるため、熱が入るようである。今年は80%ぐらいと思われるが、この科目の内容が自身の課題とオーバーラップしているのだろうと思う。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た内容的妥当性については、良かったと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

保育科の学生たちは自身の考えを皆と分かち合うという事を日頃からしているため、講義においても他の学生の意見を聞いて学ぶことを好んでいる傾向にある。したがってグルーptークの回数を増やし、学生が学びやすい講義の環境を作り出したいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全ての学生が最終講義までには課題を達成できるように努力したい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どものためのピアノⅠ	1	前期	選択	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。</p> <p>個々のレベルに応じてピアノの技術を習得していくため、非常勤助手の教員4名を含めた6名の教員のもとグループをつくり個人レッスンの形で進めている。グループで偏りがでないよう入学前までの学生のこれまでの音楽経験をもとに、個々のレベルに合わせて均等にグループ分けをし、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。</p> <p>また、担当教員のレッスン以外に、科目担当者のもとで1人2回ずつ中間発表・グループレッスンの機会を設けることで人前で弾くことに慣れるだけでなく、それぞれ感想を伝え合うことで課題に対する理解を深めるようにしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は66.9点（S-2人、A-15人、B-2人、C-0人、D-31人）であった。本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。今年度は昨年度までに比べて音楽経験のない学生が多いため成績の平均値が低くなっていると考え。しかし、「到達度自己評価」の全般的評価の平均値は4.3と回答されており、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値も4.5であったことから、各自の成績にばらつきはあるものの課題に対する意識は高く、個々のペースで保育者として必要な技術を身につけるために着実に課題へ取り組んでいると考える。</p> <p>以上のことにより、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育内容の理解と方法」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。DPに関しても、「到達度自己評価」の「技能表現」において、約93%の学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答している。本科目では、保育者として求められるピアノの力を身につけるためにまず基礎を身につけることに重点をおいた内容を課題としている。授業の課題以外に取り組んだ学習としてピアノを弾く以外に「音読みの練習をした」「ハノン」等の回答があり、個人レッスンの形態をとることにより各学生の課題点をそれぞれ伝えることができていると考える。それ以外にも「ネットで調べて少しでも多く弾ける曲を増やした」「自分がやりたい曲」「日々練習することで上達するから」と記述があることから意欲的に取り組む様子がみられた。</p> <p>以上のことにより、内容的妥当性に問題は無いと考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>一対一の個人レッスンという体制により、学生が担当教員に相談しやすく個々の状況に応じて課題を進められる反面、学生によっては直接発言しづらい環境でもあるため、教員間の情報共有・連携だけでなく、科目責任者の教員が全学生の進捗を把握し、学生とコミュニケーションをとれるよう心がけていきたい。</p> <p>自由記述において「多くの人に見られて演奏しても緊張しないように、全体での発表、ローテーションを増やしてほしい」という記述がみられた。昨年度までは「人前で弾くことが苦痛なのでなくしてほしい」といった意見があったことを受け、今年度はより丁寧にローテーションの意図を説明してきたのが伝わっていると考えられる。受講者数と授業回数により1人2回の発表回数となっているが、今後は発表の方法を検討して可能な限り発表の回数を増やすことができるよう考えていきたい。</p> <p>また、今回課題修了に至らず単位を取得できなかった学生へは、後期の「子どものためのピアノII」に向けて継続的な練習に取り組むことで技術の向上を目指し単位取得への声掛けを行っている。学生の希望に応じて授業外でも質問やレッスンを受け付けることで、学生の技術向上をサポートできるよう対応していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。</p> <p>今後は、上記の課題を改善していきながら授業を展開できるよう心がけていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの運動あそび	1	前期	選択	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要であるため、保育士資格を希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生（前期）であり、子どもの運動あそびやその果たしている役割などは理解していない。今後資格を取得するために、子どもの発達や運動あそびの果たしている役割を理解することは大切であり、安全管理等の知識を得るためには重要な科目であると認識している。授業を進めるにあたっては、学生が子どもの運動あそびを実際に行いながら子どもの発達や運動あそびの発展等を理解できるように、ディスカッションや過去の経験を振り返ることができるような内容を取り入れた。また、今後の実習に生かせるように、授業後に内容をノートにまとめるように指導を行った。運動あそびではあるが、子どもの発達や運動あそびの理解が深まるように資料配布を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は89.2点（S-36人、A-14人、C-1人、D-1人）である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Sを取得した学生は、理想的なレベルの見本が示せたり運動あそびの補助ができるようになっていたが、Cの学生は、授業中に達成することができなかったため、授業外等で引き続き個別の指導を行っていく必要があると思われる。授業評価アンケート「学習量の評価」では、苦手なことをできるように練習したという意見や、運動あそびの種類や内容をノートにまとめるという意見が見られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「専門科目」における「保育内容の理解と方法」に位置づけられており、保育士資格（必修）の科目である。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、遊具の安全性について考えた、苦手なことを家でも練習したという意見がみられた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

体育館という環境のため、学生が説明を聞き取りやすいように注目を集めたり、聞き取りやすい環境づくりに努めた。また、教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で授業を行った。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りが見られるため、すべての学生が発言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。授業評価アンケートでは、運動あそびの種類を調べノートをまとめたという意見が見られた。授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習では、鉄棒やマット運動の練習を行っている学生が多くいたが、図書館やインターネットを利用した学生がほぼいなかった。遊びの種類や安全管理等を調べるような課題を設定し、利用を促したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。この授業では学生のみで運動あそびを行うため、実際の子どもの姿と重なることが少ない。今後の実習等で経験や知識が生かされるように、他の授業と繋げて考えられるような授業展開をできるように検討していく。また、授業後に内容をノートにまとめるようにしているが、授業中の休憩時間にメモを取れるように改善を行いたい。

リフレクションカード 2022年度前期

学科	保育
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども文化	1	前期	必修	いいえ	54

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・本科目は資格取得に必要な科目で、学生は保育現場での「あそび」の実践につながることを理解して受講していた。実際に保育科資料室等にある子ども文化財を用いて遊び方を体験し、またそれを使ってお互いに発表し合うことで手作りの保育教材の必要性を理解し、自分なりの教材作成へと進める計画であった。</p> <p>・子ども文化財が幼児子どもの発達に与える影響について講義で伝え、子どもの発達を促しながら「あそび」を楽しむことができる保育教材を作成するとともに、それを保育現場に持ち込んで実践できるように留意しながら授業を行った。</p> <p>・まずは担当教員が子ども文化財を用いて演じて見せ、それを参考に「自分の教材制作、遊び方の工夫」ができるように心がけて授業を行った。</p> <p>・最終回の授業では、実習や保育現場での実践力が身につくように、状況に配慮しながら手作りの保育教材の発表会を行い、学生同士の作品を見ていろいろな視点に気づけるように意図しながら講評をしていった。</p> <p>・対面での発表会では学生同士の交流ができるように心がけながら、お互いに演じ方についての意見交換を促していった。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			やや達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・様々な子ども文化財が子どもに与える影響について解説し、現場で活かせる文化財の作成を促したことで、ほとんどの学生はその意図を理解したうえで自分なりの保育教材を作るとともに、他者の前で発表することができていた。</p> <p>・特に「認定絵本土」の取得を目指す学生は、絵本等に関する内容について積極的に学ぼうとする態度が見られた。</p> <p>・完全に対面授業になったため、作成途中の作品をお互いに見せ合い、それぞれの良いところを見つけて刺激があったり、手伝ったりすることができていた。</p> <p>・トータルの成績評価は、81.0点（±8.1）。クラスごとではAクラス85.0点（±7.4）、Bクラス77.0点（±18.8）でクラスごとのばらつきや個人での差が目立った。</p> <p>・ほとんどの学生が期日に遅れることなく、インターネットや本等を参考にして丁寧に保育教材を仕上げ、発表することができており、前向きに授業に向き合うことができていた。</p> <p>・発表会では、保育教材を用いてみんなの前で演じ、評価点、改善点などを話し合うことで自信をつけ、新たな課題を見つけて次に生かそうとする意欲が感じられた。</p> <p>・制作や発表に不慣れな学生にとっては、対面授業での学生同士のやり取りや協力があつたことが励みになり、制作や発表に取り組むことができたように思う。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

・本科目は「専門教育科目」の「保育内容の理解と方法」の科目に位置付けられており、必修の科目である。受講生のほとんどは保育現場に就職することを目指しており、概ね主体的、意欲的に授業参加ができていた。

・DPに関しても、子ども文化財の意義を理解したうえで、子どもの年齢や季節、行事などに配慮しながら意欲的に制作、そして発表を心掛けており、他者の作品や発表の様子を見て刺激を受け、学びを深める学生が多かった。

・以上のことより、内容的妥当性には問題がないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・課題の作成や発表が苦手な学生が数名いたが、対面授業の中で友だちに助けられながら制作や発表準備を進めることができていた。

・モチベーションを担保しながら子ども文化財の作成、発表を行うために、参考になる保育教材の紹介や教員によるデモンストレーションなどを適宜取り入れ、学生同士の協力体制も意識的に作りながら、やり取りを重視して指導することを心掛けたい。

・人前での発表に慣れるように、無理のない範囲で発表の機会を増やしていく。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

・一部に課題の作成や人前での発表が苦手な学生が見られたが、ほとんどの学生は実習や現場で活用できる子ども文化財（保育教材）を作成し、授業の中で設定保育形式で発表することで、準備を整えて実習に臨む態勢を作ることができたと考えられることから、概ね授業の目的は達成できたと思われる。苦手な学生に対しては個別の対応が不可欠であった。早期に苦手な学生を把握して、現場に出た時に必要であることを理解させ、モチベーションを担保しながら授業ができるように心掛けたい。加えて、自分から主体的に教材作成に取り組む意欲が育つように留意しながら、ある程度の具体例を示したり、部分的に援助したり細やかな配慮も行っていく。

・次年度には、さらに子どもの年齢や季節、行事などを考慮した課題の提示や設定保育形式での発表を、学生同士の交流を図りながら進められるように工夫していきたい。

・他の演習科目での制作課題と内容が重複しないように情報共有しながら、課題を提示していく。